

## 秋田県男鹿市でワーケーションを実施（11/7～11/10） 自治体職員や地元経営者との地域課題解決に向けたワークショップも実施

アステリア株式会社（本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:平野洋一郎、証券コード:3853、以下アステリア）は、11月7日を皮切りに秋田県男鹿市（市長：菅原 広二、以下 男鹿市）でのワーケーションを実施することを発表します。

このワーケーションプログラムでは、アステリアの社員が男鹿市内の宿泊地でテレワークを行うことに加えて、男鹿市職員や地元の経営者の皆さんとのワークショップも実施します。男鹿市がワーケーションを行う企業を受け入れることは初めてのこととなり、このプログラムを通じて地域社会と“よそ者”の交流を活性化するとともに、地方創生や関係人口の創出に繋がるワーケーションの形をアステリアと男鹿市の協業で作りに上げていく方針です。

### ■秋田県男鹿市でワーケーションを実施する背景

コロナ禍によりテレワークや、ワーケーションなど、幅広い業界で働き方の多様化が進行しています。アステリアでは2011年の東日本大震災以降、テレワークを始めとした多様な働き方の導入を進めるなかで、秋田県仙北市（2017年）、シンガポール（2019年）、長野県軽井沢町（2020年～）、熊本県人吉市・水上村（2021年～）などでワーケーションを実施し、社員のウェルビーイング<sup>※</sup>の向上や地方創生につながるプログラムとして継続してきました。

今回実施する男鹿市でのワーケーションでは、地域の社会課題の解決に向けたワークショップも予定しています。自治体職員や、男鹿市にUターンして地元で活躍する若手経営者とアステリアの社員によるディスカッションなどを通じて、課題解決と地域社会との交流を図ります。

アステリアでは今後もワーケーションを含めた多様な働き方を推進しウェルビーイングの向上とともに、滞在先の地域社会との共創に繋がる持続的な関係を構築していく方針です。

アステリアのワーケーション試行風景  
@長野県軽井沢町(2020年10月)



### ■「ワーケーション」実施概要

実施地域	秋田県男鹿市
日程	11月7日（月）～11月10日（木）：3泊4日
参加人数	社員4名（主に首都圏、東海エリア在住社員）
内容	宿泊地でのテレワーク、地域社会との交流、地元経営者とのワークショップ 他

※ウェルビーイング（Well-being）：肉体的、精神的、社会的に、すべてが満たされた状態にあること

### ■「アステリア株式会社」について（Webサイト <https://www.asteria.com/>）

アステリア株式会社（2018年10月にインフォテリアから社名変更）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品のASTERIA Warpは、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に9,664社（2022年6月末現在）の企業に導入されています。また、Handbookは、営業資料や会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,647件（2022年6月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

### 【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL：03-5718-1297 / 携帯：080-7709-5212（齋藤） / E-mail：[press@asteria.com](mailto:press@asteria.com)

アステリア、Asteria、Handbookは、アステリア株式会社の登録商標です。